

4 - 16 森 - 御前崎間の重力変化

Change of Gravity in the Region between Mori and Omaezaki

京都大学 理 学 部

東京大学 地震研究所

Faculty of Science, Kyoto University
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

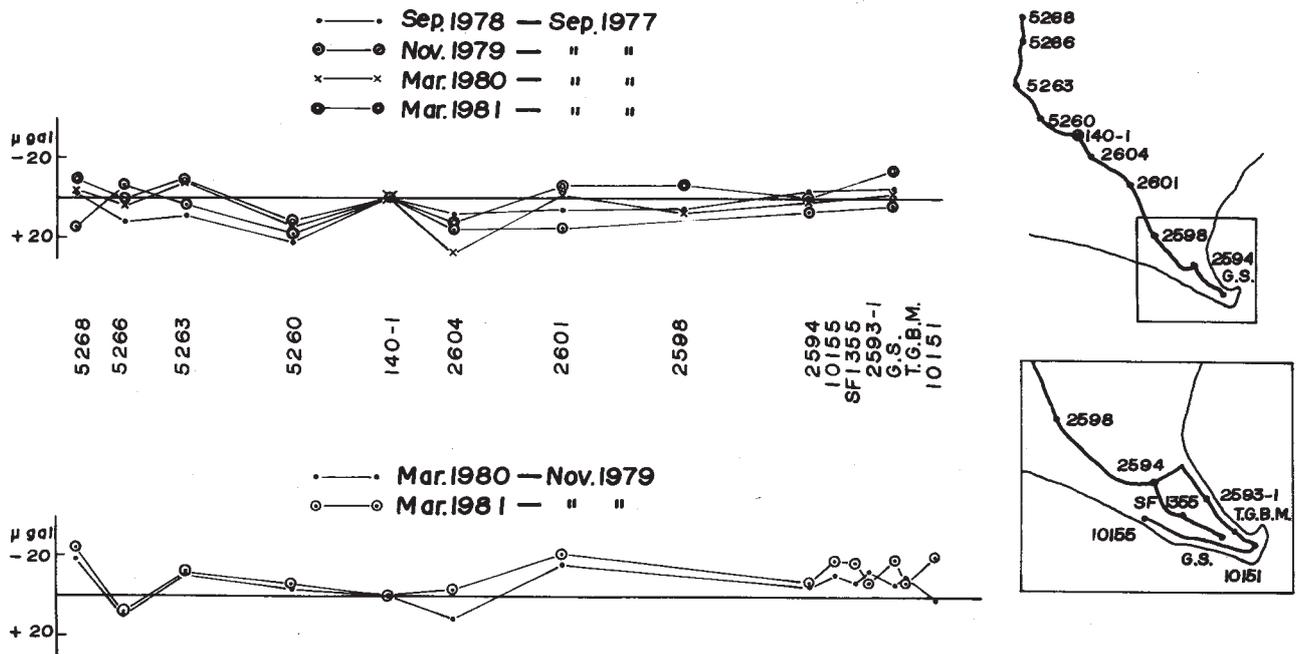
1981年3月、森 - 御前崎間の第7回の重力の精密測定を実施した。使用した重力計は、前回と同様、3台のLa Coste重力計である。第1回(1970年9月)から第6回(1980年3月)までの測定結果は既に報告したとおりであり^{1)~5)}、今回は第3回(1977年9月)の測定値を基準としたその後の重力変化について報告する。

第1図の右上の部分に重力測定を行った水準点の番号と位置を示している。御前崎先端部をさらに詳細に調査するため、第5回測定(1979年11月)からは測点の数を増やしたので、それを同図の右下の部分に示している。左上のグラフは、掛川の水準点(140-1)の重力値を不変と仮定して、1977年9月以降の各測点の重力値の変化を示したものであり、左下のグラフは、同じく掛川の水準点(140-1)の重力値を不変とし、新測点を含めて、1979年11月以降の重力値の変化を示したものである。

これらのグラフを概観すると、大勢として、掛川に対して森付近と御前崎付近の重力値が相対的にやや減少しているように見えるが、重力測定の精度が $\pm 20 \mu \text{gal}$ であり、また国土地理院の水準測量の結果から期待される変化とも異なることを考慮すると、そのように断定するのは尚早と思われるので、その判断は今後の測定結果に委ねたい。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院他：東海・近畿地方における精密重力測量，測地学会誌，**17** (1971)，22 - 37.
- 2) 田島広一：地震および地殻変動に伴う重力変化，地震研究所彙報，**50** (1975)，209 - 272.
- 3) 東海地方の重力変化研究グループ：東海地方の重力変化，連絡会報，**19** (1978)，99 - 100.
- 4) 東海地方の重力変化研究グループ：東海地方の重力変化 (第2報)，連絡会報，**21** (1979) 97 - 98.
- 5) 京大理，東大震研：森 - 御前崎間の重力変化，連絡会報，**24** (1980)，147 - 148.



第1図 森-御前崎間の重力変化。⊙印の水準点の重力値を不変と仮定している

Fig. 1 Change of gravity in the region between Mori and Omaezaki. Gravity value at the bench mark ⊙ is assumed as invariable during the period.